

第2章

将来の環境像と 基本目標

第1節 計画の目標

天草市総合計画の環境分野を補うため、目ざすべき将来の環境像と5つの基本目標を次のように設定します。

1. 将来の環境像

「満足感あふれる恵み豊かな環境都市」

本市は、東シナ海・有明海・八代海に囲まれた、風光明媚な天草上島・下島と御所浦島で構成され、自然・歴史・文化の環境資源に恵まれたまちです。

これらを育んできた先人たちの功績は、私たちにとってかけがえのない資産であり誇りでもあります。

天草に生まれて・住んで、来て良かったと誰もが満足を感じられる環境づくりを目ざすため、将来の環境像を設定しました。

2. 5つの基本目標

(1) 豊かな自然と共存する住みやすい天草づくり (安全・安心・豊かさ)

本市は、今のところまだ豊かな自然環境が残されていますが、この自然環境が人の生活活動によって壊されることがないように、また、復元することも考慮しながら環境資源を保全し、自然と人が共存していく必要があります。

妙見浦 (天草町)



(2) 環境と経済が調和した持続可能な天草づくり(経済との調和)

市民等・事業者・行政はそれぞれ自然環境に配慮し、負荷をかけない経済活動を可能な限り実施し、良好な環境を次世代につないでいく必要があります。

牛深海域(海中)公園ブルーマリン号(牛深町)



(3) 資源とエネルギーの循環による地球環境にやさしい天草づくり(循環・低負荷)

バイオマス[※]を始めとした再生可能な環境資源を活用し、これらによって得られるエネルギー資源を循環させることにより、可能な限り地産地消を図っていく必要があります。

わくわく本渡児童館の太陽光発電(丸尾町)



(4) 多様な生物たちと共生し、豊かな心を育む天草づくり(生きものたちとの共生)

人は自然によって生かされていることを理解することで、自然との共生が生まれ、世代を問わず豊かな心を育んでいく必要があります。

群れをなすミナミハンドウイルカ(五和町)



(5) 学び行動する環境市民力による天草づくり(自主協働)

市民等・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を理解するとともに、自発的に環境に配慮したライフスタイルを構築し、地域活動に積極的に参加することで、協働による天草づくりを行っていく必要があります。

環境学習会(五和町)



